

平成 26 年度 全日制学校評価実施報告書

県立神奈川総合産業高等学校

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況			
SSHの成果を生かし、国際的に活躍する創造的な科学技術系人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験、実習、演習による科学技術教育及び英語教育の充実</li> <li>プレゼンテーション能力の向上及び外部発表への積極的な参加</li> <li>探究活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組状況や活動状況とその成果</li> <li>外部の発表に積極的に参加できたか</li> <li>意欲的に探究活動に取り組めたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科、外国語、専門科目において実験・実習を中心とした科学技術教育・国際教育を行った。</li> <li>2回の校内生徒研究は発表会を実施し、プレゼンテーションの能力の向上に努めた。また、課題研究英語発表会を実施し、科学英語活用能力の向上に努めた。</li> <li>「かながわ国際サイエンスフォーラム」など、外部の科学技術系コンテストに参加することができた。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSH 継続指定として、効果的な国際・科学技術教育を展開することができた。</li> <li>研究発表等とおしたプレゼンテーション能力の育成を行った。科学英語運用能力の向上に向けた様々な取組を行っている。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が課題研究を行う体制を作る必要がある。</li> <li>次の SSH 指定に向けて、課題の整理と評価・検証が必要である。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味や関心に応じた特色ある科目を学ぶことができています。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSH 事業の中で、中学校でのポスター発表は中学生では目にしない、耳にしないことが学べる貴重な体験となっている。</li> <li>SSH の指定が終了しても特色ある取り組みの継続が必要である。</li> <li>学校が目標を持つことで、学校のブランドが向上する。ブランドが向上すれば、生徒募集や就職・進学にも有利に働くと考える。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SSH 継続指定として、効果的な国際・科学技術教育を展開することができた。</li> <li>研究発表等とおしたプレゼンテーション能力の育成を行った。科学英語運用能力の向上に向けた様々な取組を行っている。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が課題研究を行う体制を作る必要がある。</li> <li>次の SSH 指定に向けて、課題の整理と評価・検証が必要である。</li> </ul>
生徒が主体となり、個性に応じた高校生活を送り、安心で安全な、明るく活力のある学校をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつの励行および校内美化の推進</li> <li>モラルやマナー意識向上を目指した道徳教育の推進</li> <li>生徒の主体的な活動の促進および支援</li> <li>特別活動の活性化と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組状況や活動状況とその成果</li> <li>新たな取組の実施状況</li> <li>生徒アンケートによる満足度が 80%以上を達成できたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が率先してあいさつをすることで、生徒が自然とあいさつをするようになった。また、生徒の清掃活動も定着した。</li> <li>相模原地区交通安全デー（春秋 2 回）への参加やスケアードストリート（事故現場の再現）を実施し、自転車の乗車ルールやマナー等を啓発し、安全意識の向上が図れた。</li> <li>体育祭や文化祭等の生徒会行事では、生徒が主体となって企画・運営することができた。</li> <li>生徒会及び広報スタッフの主体的な活動が認められ、神奈川県教育委員会表彰を受賞した。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のあいさつや清掃活動が定着し、学校全体が明るい雰囲気になった。</li> <li>学校行事では生徒が自ら考え企画し主体的に運営し、達成感が向上した。</li> <li>生徒の主体的な活動が認められ、生徒会及び広報スタッフが、神奈川県教育委員会表彰を受賞した。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がより自主自立を意識した行動や活動ができるよう支援していく。</li> <li>校内に留まらず外部との連携した取り組みができるように働きかけを行う。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭、文化祭や研修旅行等の学校行事で生徒が充実した学校生活を送っている。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする生徒が増え、学校がより明るい雰囲気になった。</li> <li>校内校外の行事や PTA 関係の活動等に、生徒が積極的に対応していることは非常によい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のあいさつや清掃活動が定着し、学校全体が明るい雰囲気になっている。</li> <li>学校行事では生徒が自ら考え企画し主体的に運営し、達成感が向上した。</li> <li>生徒の主体的な活動が認められ、生徒会及び広報スタッフが、神奈川県教育委員会表彰を受賞した。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がより自主自立を意識した行動や活動ができるよう支援していく。</li> <li>校内に留まらず外部との連携した取り組みができるように働きかけを行う。</li> </ul>

<p>生徒一人ひとりが主体的に学習する基盤を養い、表現力の育成と学習習慣を確立し、より高い学力を定着させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力から発展へ学力向上を目指すために言語活動を重視した授業展開</li> <li>・思考力、判断力、表現力をはぐくむための主体的な学びと学習習慣の確立</li> <li>・生徒による授業評価を活用した教科指導の工夫・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組状況や活動状況とその成果</li> <li>・生徒の学習習慣の定着度が上がったか</li> <li>・生徒による授業評価で充実度が上がったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・90分授業の展開を説明、課題、発表等を工夫することで、基礎的な知識及び技能が定着できた。</li> <li>・特別補習、春・夏・冬季講習を実施し、生徒の学力の定着及び向上に努めた。</li> <li>・修得した知識・技能を活用して課題解決に主体的に取り組めるように調べ学習、グループ学習や意見発表を多く取り入れた。</li> <li>・年間をとおして、研究授業、事業改善、授業評価、校内研修会など、組織的な授業改善に取り組んだ。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習、グループ学習や意見発表を積極的に取り入れ、生徒が主体的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・言語活動を重視した組織的な授業改善に全職員が取り組み、研究授業、職員研修が定着した。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒のよる授業評価」では概ね高い評価を得たが、より生徒のニーズや実態が反映されるように授業研究を行い組織的な授業改善に取り組む。</li> <li>・より生徒が高い目標をもって学習に取り組めるよう、日々の家庭での学習時間を確保するための課題学習や、補習・講習をより充実させる。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得に取り組んでいるが、もっと多くの資格取得の機会があるとよい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業評価が高く、よりわかりやすい授業の実施に取り組んでいる。</li> <li>・資格取得に積極的に取り組んでいる生徒がいる。さらに多くに生徒が取組ませるで、勉強する雰囲気になるとよい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習、グループ学習や意見発表を積極的に取り入れ、生徒が主体的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・言語活動を重視した組織的な授業改善に全職員が取り組み、研究授業、職員研修が定着している。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒のよる授業評価」では概ね高い評価を得たが、より生徒のニーズや実態が反映されるように授業研究を行い組織的な授業改善に取り組む。</li> <li>・より生徒が高い目標をもって学習に取り組めるよう、日々の家庭での学習時間を確保するための課題学習や、補習・講習をより充実させる。</li> </ul>
<p>教育相談体制の充実や生徒の主体的な進路選択を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育実践プログラムに基づいたガイダンスや進路指導の実践</li> <li>・いじめなどの相談体制やケース会議の充実をもとにした教育相談の推進</li> <li>・進路に関する情報を共有し、学校全体で組織的・計画的な進路支援に取り組む</li> <li>・いつでも一人ひとりの生徒の相談に対応できる体制と進路指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組状況や活動状況とその成果</li> <li>・新たな取組の実施状況</li> <li>・学校全体での取組ができたか</li> <li>・希望する進路先への進路状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校のキャリア教育実践プログラムに基づき、キャリア教育を実践できた。</li> <li>・「進路の手引き」を作成し、全生徒に配付した。各年次の発達段階に合わせて活用し、面談週間等の進路相談時に利用した。</li> <li>・進路相談室を常時開設し、いつでも進路相談に対応できる体制を維持した。</li> <li>・生徒対象の進路希望調査、進路ガイダンス、大学・専門学校分野別説明会、指定校推薦説明会等を実施し、進路意識向上に努力した。</li> <li>・各年次保護者対象進路説明会を実施し保護者の現状理解と協力をお願いした。</li> <li>・4月から就職者指導を実施し、個々の希望する進路先が決定した。</li> <li>・取り組みの成果が進路決定中間報告(12/15現在)に現れており、125名が進路決定した。約100名の生徒が一般受験に挑戦した。</li> <li>・いじめ対策会議を設置した。いじめ問題アンケート(3回)を実施し、いじめの実態把握をし、気になる内容については迅速に対応し解決を図った。また、職員対象のいじめ対策研修会を開催した。</li> <li>・ケース会議を定期的に開き、情報交換および適切な対応を行うよう努めた。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校のキャリア教育実践プログラムに基づき、各年次(発達段階)に合わせたキャリア教育を計画的に進めた。</li> <li>・進路希望調査により生徒の希望を把握し、進路指導室の活用、進路ガイダンスや各種説明会、進路行事等を実施し、生徒のニーズに応じた進路指導を計画的に進めた。</li> <li>・模擬試験の実施、夏季講習の充実、面談や保護者との連携により、生徒の進路実現に向けた支援を行った。</li> <li>・生徒の相談に対して全職員が協力して迅速に対応した。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育全体でキャリア教育が推進され、一人ひとりの生徒の学習意欲向上が達成されるように検証する。</li> <li>・学習課題(わからないところ)を残さないための自宅学習時間の増加を促す指導や支援が必須である。進路調査では各年次にわたって、日常の学習時間が少ない。</li> <li>・生徒の相談が多様化しているため、外部機関との連携を図りながら一人ひとりに応じた対応の充実を図る。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方や進路決定などについて、きめ細かなガイダンスを受けたり、相談ができた。</li> <li>・教育相談窓口があるのは心強いが、もっと気軽に悩みが相談できるとよい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップや社会人の講話を実施し、早い時期からの職業選択の意識付けに取り組んでいる。</li> <li>・入学から卒業まで計画的に進路指導に取り組んでいる。</li> <li>・高校時代は色々な経験をして自分自身を高める時期で、負荷を乗り越えることで自信がつく。より多くのことを体験する機会が必要である。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校のキャリア教育実践プログラムに基づき、各年次(発達段階)に合わせたキャリア教育を計画的に進めることができた。</li> <li>・進路希望調査により生徒の希望を把握し、進路指導室の活用、進路ガイダンスや各種説明会、進路行事等を実施し、生徒のニーズに応じた進路指導を計画的に進めることができた。</li> <li>・模擬試験の実施、夏季講習の充実、面談や保護者との連携により、生徒の進路実現に向けた支援を行うことができた。</li> <li>・生徒の相談に対して全職員が協力して迅速に対応した。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育全体でキャリア教育が推進され、一人ひとりの生徒の学習意欲向上が達成されるように常に検証する。</li> <li>・学習課題(わからないところ)を残さないための自宅学習時間の増加を促す指導や支援が必須である。進路調査では各年次にわたって、日常の学習時間が少ない。</li> <li>・生徒の相談が多様化しているため、外部機関との連携を図りながら一人ひとりに応じた対応の充実を図る。</li> </ul>

<p>地域および他学校間の連携を強化し、開かれた学校とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭、地域が連携した教育活動の展開および開かれた学校づくりの推進</li> <li>学校説明会、ホームページ等を活用した学校広報活動の推進</li> <li>交通安全啓発活動等本校が拠点となる取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組状況や活動状況とその成果</li> <li>地域や外部機関との連携、活動状況やその成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相模原中等教育学校、相模女子大高等部との3校連携で小学生の体験教室や国際フェスタ、地元中学生を対象とした教室巡回ポスター発表やサイエンスコミュニケーションや、県内27高校と連携した「かながわ国際サイエンスフォーラム」を実施した。また、地元の16企業での体験学習を実施した。</li> <li>相模女子大学高等部と生徒会連携による通学路の清掃活動を行った。</li> <li>地元自治会主催の祭りに生徒会やジャズバンド部・大道芸同好会・ダンス同好会が参加し、地域との交流を深めた。</li> <li>小学校6年生を対象とした科学技術体験教室、高校体験プログラムを中学3年生対象に実施した。</li> <li>中学校計9校のPTAが学校見学に来校した。また、中学校計9校から進路説明会への参加依頼があり説明を行った。</li> <li>全公立展、相模原地区公私合同説明会、県産業教育フェアに参加し学校紹介を行った。</li> <li>学校説明会を本校において6回開催し、個別の学校案内も実施した。</li> <li>HPによる情報発信を頻繁に行い、本校行事等を速やかに掲載した。また、本校の施設設備を活用した独自の授業内容等の情報も掲載した。</li> <li>相模原南署、相模原市役所、本校が「サポーターズ」、生徒有志による交通安全啓発活動を年2回実施した。</li> <li>「サポーターズ」交通安全委員会および本校生徒支援グループ共催の「スタート」ストリート式交通安全教室を本校校庭で実施した。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全啓発活動や地域貢献デー、科学技術体験教室などを通して警察、行政、自治会、近隣小中学校やPTAとの連携を深めることができた。</li> <li>学校HPを通しての情報発信で閲覧者数の増加を見ると本校に対する関心の度合いの高さが確認できた。</li> <li>全体を通して県内における本校の認知度が徐々にではあるが増加していると感じられた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校HPは家庭用IT機器の普及により今後の学校案内や紹介の重要な手段となりうると考える。紙媒体の学校案内の充実も重要であるが、更新回数を増やして閲覧者を増やし「質問コーナー」などを用意して質問や疑問に答える双方向性を検討したい。</li> <li>本校の特色ある取組をより一層周知するために、これまで周知していなかった中学校等にも広報活動を広げていく。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の施設や設備を有効に活用できた。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを多く実施し、学校の特色を外部にも紹介するとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上を図っている。</li> <li>生徒が一生懸命取り組む姿が、教職員のモチベーションの向上にも繋がっている。</li> <li>HPはよく更新され、学校の取り組みが誰にでもわかるように工夫している。次のお知らせや生徒の本音も掲載されるともっとよい。</li> <li>地域の掲示板を学校とのコミュニケーションの繋ぎとして活用していることは非常によい。</li> <li>生徒、保護者、地域の方と連携して学校周辺の環境美化活動を行うことで、学校の内部を知ることができてよかった。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全啓発活動や地域貢献デー、科学技術体験教室などを通して警察、行政、自治会、近隣小中学校やPTAとの連携を深めることができた。</li> <li>学校HPを通しての情報発信で閲覧者数の増加を見ると本校に対する関心の度合いの高さが確認できた。</li> <li>全体を通して県内における本校の認知度が徐々にではあるが増加していると感じられた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校HPは家庭用IT機器の普及により今後の学校案内や紹介の重要な手段となりうると考える。紙媒体の学校案内の充実も重要であるが、更新回数を増やして閲覧者を増やし「質問コーナー」などを用意して質問や疑問に答える双方向性を検討したい。</li> <li>本校の特色ある取組をより一層周知するために、これまで周知していなかった中学校等にも広報活動を広げていく。</li> </ul>
<p>職員の不祥事防止の徹底、防災教育の充実により、信頼される学校とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止会議および事故防止研修の継続による職員コンプライアンスの向上</li> <li>生徒の防災意識の喚起および安全対策の一層の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故および不祥事件数のゼロを継続</li> <li>防災教育の取組状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な事故防止会議の開催、事故防止研修会や講演会の実施、県からの通知及び日常の事故防止情報の周知により、事故及び不祥事件数ゼロを継続した。</li> <li>迅速な生徒把握ができるよう、防災訓練を工夫し、実施した。</li> <li>緊急連絡手段として「まちcomi」の導入を行い、生徒・保護者への登録を進めた。</li> <li>「気象警報発令時並びに災害発生時の授業対応について」より生徒・保護者にわかりやすい内容に変更した。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止会議の定期的開催、不祥事防止研修会や講演会の実施、日常の啓発などにより、職員の不祥事ゼロが継続されている。</li> <li>生徒の迅速な避難及び非難生徒の把握を意識した防災訓練を実施した。</li> <li>安全対策を念頭に置いた緊急時の対応や連絡方法の確保に努めた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故不祥事防止及び安全対策について、絶えず職員の共通認識を高めるとともに、生徒、保護者の視点に立った対応を行う。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちcomiメール」の導入により、学校の情報が直ぐに伝わってくるのでよい。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時には近隣には遠くまで逃げられない方もいるので、防災での地域との連携が必要である。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止会議の定期的開催、不祥事防止研修会や講演会の実施、日常の啓発などにより、職員の不祥事ゼロが継続されている。</li> <li>生徒の迅速な避難及び非難生徒の把握を意識した防災訓練を実施した。</li> <li>安全対策を念頭に置いた緊急時の対応や連絡方法の確保に努めた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故不祥事防止及び安全対策について、絶えず職員の共通認識を高めるとともに、生徒、保護者の視点に立った対応を行う。</li> </ul>